



○市町村は国、県の戦略を勘案。独自の発想で地域にあつた戦略を練る
 ○総合戦略は、平成27年度10月を目標に策定予定

御嵩町版総合戦略の素地

【御嵩町の人口動向】

- 2025年（平成37年）まで老年人口は急増し、その後はやや減少。しかし、生産年齢人口と年少人口は出生数の低下とともに減り続け、急速な人口減少が続く推計。
- 当面は高齢者福祉や社会制度改革が大きな課題。さらに生産年齢人口の減少に伴い、地域経済や地域社会の活力が低下することが懸念される。

【御嵩町の主要課題・特徴】 →柱として想定されるもの

| 環境モデル都市 (名鉄広見線対策など) | ひとづくり (子育て・教育・文化) | しごとづくり | 魅力あるまちづくり (観光振興・魅力発信・地域連携) | 安心づくり (亜炭鉱廃坑対策など) |
|---|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●低炭素化と持続的発展を両立してライフスタイルの転換と地域活力の創出を目指す ●広見線を基幹として、交通ネットワークを活かしたまちづくり ●地域コミュニティの再生 ●分散型エネルギーへのシフト | <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援の充実 ●地域の文化財、祭りの保存継承 ●スポーツ・文化倶楽部等の活動支援 ●ワークライフバランスの推進 ●教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ●若者・有能なものづくり人材の確保・流出防止 ●障がい者の一般就労の拡大 ●女性の活躍推進 ●農業、六次産業化の推進 ●森林経営、森づくりの推進 ●しごとの場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●国内外からの観光誘客 ●中山道御嶽宿・伏見宿等の活用、環境の整備 ●企業誘致の促進 ●東濃高校、東濃実業高校連携 ●地域特産の販路拡大、展開 ●首都圏等を中心とした移住定住情報の発信 ●移住者受入人材、地域など体制の構築 ●交流人口、活動人口の増加促進 ●広域（可児、八百津、瑞浪、多治見など）連携した観光、交通など多様な連携 | <ul style="list-style-type: none"> ●町土強靱化に向けた取り組み ●地域防災力の強化 ●公共施設等の戦略的な維持管理 ●空き家対策の推進 ●医療・福祉の充実 |